

# 眼科

## 主な対象疾患

- ・網膜疾患（糖尿病網膜症、加齢黄斑変性、網膜循環障害など）
- ・ぶどう膜疾患
- ・白内障
- ・緑内障
- ・角膜疾患
- ・涙道
- ・斜視弱視
- ・視神経疾患 など

※手術を要する疾患は対象外となります。

<視能訓練士による検査>

視力検査／屈折検査／角膜曲率半径／眼圧検査／静的視野検査(HFA)／動的量的視野検査(GP)／変視症テスト(Mチャート・アムスラーチャート)／

眼底三次元画像解析(OCT)／眼底写真／色覚検査(石原式色覚検査表、SPP標準色覚検査、色相配列検査)／中心フリッカー値測定／角膜内皮細胞検査／HESS／眼位検査／蛍光眼底造影検査(FAG)

※網膜電位計(ERG)、インドシアニングリーン蛍光眼底造影検査(IA)は行っておりません。



専門分野  
眼科一般

資格等  
日本眼科学会専門医

医師(非常勤)

たかい あきこ  
高井 章子  
H23年卒

### ■診療体制

- ・非常勤医師5～6名
- ・月～金(午前)

## 診療科の特徴

### ●糖尿病網膜症・黄斑疾患への積極的な専門加療

糖尿病網膜症に対する網膜レーザー光凝固術や、加齢黄斑変性・黄斑浮腫への抗VEGF薬(硝子体注射)を積極的に実施しています。院内他科とも密に連携しており、糖尿病合併症のトータルマネジメントも可能です。

### ●画像を用いた「見える化」による丁寧なインフォームドコンセント

眼底画像等を駆使し、患者さんが病態を視覚的に理解できる説明を徹底しています。白内障や緑内障の点眼・視野管理に加え、不定愁訴とされがちなドライアイにも涙点プラグ挿入術などで丁寧に対応しております。

### ●神戸アイセンター等との円滑な「病病・病診連携」

手術や精密検査が必要な際は、神戸アイセンター病院等の高次施設へ迅速に紹介いたします。術後の安定期には当科でフォローを行い、状態が落ち着いた段階で地域の先生方へ逆紹介するなど、切れ目のない地域連携を推進しています。

## 地域医療機関の先生方へ：ご紹介時のお願い

- ・「蛍光眼底造影検査(FAG)」、「レーザー光凝固」、「硝子体注射」が必要な症例がございましたら、ぜひ当科へご紹介ください。
- ・現在、当院では手術を行っておりません。手術や精密検査が必要な場合は、神戸アイセンター病院を中心に患者さんのご希望や病状に沿った病院へ紹介させていただきます。手術後、紹介先での経過観察が不要な場合は当院で経過観察させていただき、状態が落ち着いた時点で地域の医療機関へ紹介させていただきます。